

第2回 多摩市再生可能エネルギー事業化検討協議会 議事録		番号	H25 議 002
		頁	1/2
議 題	1. 協議会初出席者紹介 2. 議事・報告 ①基本情報専門委員会報告 ②技術専門委員会報告 ③ファイナンス専門委員会報告 ④広報専門委員会報告 ⑤PPP 専門委員会報告 <各報告について意見交換> 3. 事務局より その他 連絡・共有事項	日 時	2013年8月20日(火) 17:30 ~ 19:30
		場 所	多摩信用金庫 多摩センター支店 Win プラザ多摩センター
		出 席 者	水上貴央、桃井和馬、山川陽一、浦野卓男、戸辺文博、須永修通、藤田道男、町井則雄、吉岡剛、新木亘、稲垣憲治、磯貝浩二、江川美穂子、秋元孝夫、武内喜則、片桐徹也、大木貞嗣、林久美子、高森郁哉、山川勇一郎、中瀬剣正、早川一樹、他 (順不同、敬称略)
議 事 資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 25 年度第 2 回 多摩市再生可能エネルギー事業化検討協議会次第 ・基本情報委員会検討業務報告 ・技術専門委員会検討業務報告 ・ファイナンス専門委員会検討業務報告 ・広報専門委員会検討業務報告 ・PPP 専門委員会検討業務報告 	添付資料	<ul style="list-style-type: none"> ①物件リサーチチェックリスト(ひながた) ②管理組合向けご案内 ③顧客管理システム ④マンション管理士会招聘 ⑤第 1 回事業化協議会議事録 <input type="checkbox"/> (閲覧資料) Q&A
議 事 内 容 (要 約)			
<p>1. 協議会初出席者紹介 事務局より今回初参加となった次の構成員の紹介があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・副委員長 多摩循環型エネルギー協会理事長 桃井和馬氏 ・新日本有限責任監査法人 公認会計士 新木亘氏 ・NPO 法人環境エネルギー政策研究所 吉岡剛氏 <p>なお、閲覧資料は後ほど配り、終了後回収する旨の報告があった。</p> <p>2. 議事・報告 委員長より、今回はファイナンスと PPP 専門委員会に時間を掛けたいので、その他の報告はスピーディーに進行するよう指示があり、各委員会報告となった。</p> <p>【基本情報専門委員会報告】 報告は主に次の 2 つだが、現在は公共施設の調査を主に行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①公共施設の調査・検討 ②集合住宅の調査・検討 <p>物件リサーチシートを作成し、必要項目を網羅し写真を付けてチェックする方法で運用を開始した。また、貸主用の Q&A は ppp 委員会で報告する。集合住宅の調査は、広範囲に展開するため本日、201 か所の管理組合に DM を発送した。との説明があった。</p> <p>意見 1：調査シートでは、周辺環境の遮蔽物を考慮することも重要で、将来的に南や南東に高層ビルが建ってしまうようなことも考えられるので、検討しておく必要がある。</p> <p>委員長：建物が建つかどうかは計画があればわかるが 20 年先までは難しい。南側の土地所有者や公共か民間かなど重要です。調査シートでの調査を更に進めて下さい。</p> <p>【技術専門委員会報告】 報告は、次の 5 つのテーマについて説明があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①施行・管理体制の検討・確立 ②災害時に活用できる蓄電池の検討 ③適正な売電量モニタリングシステムの検討 ④適正な損害保証に関する検討 ⑤高圧受電事業者の実現性に関する検討 <p>施工に関しては、「ゆいま～る聖ヶ丘」を進めるため J 社と基本契約を締結しているが、今後は他の事業者も検討して行く予定。との説明があった。</p>			
～ 次ページへ ～			

～ 前ページより ～

意見1：J社との基本契約は、事業を具体的に進めるための選択だったようだが、役割・責任分担を決めた上で選ぶ必要がある。

委員長：最初にJ社を選んだ選択基準はあるはずだが疑義が生じないよう、次回以降に契約内容を示すなど、問題がない範囲でオープンにして進めて欲しい。

【ファイナンス専門委員会報告】

委員会を3回開催したが、大きな柱として次の3つの説明があった。

- ①事業試算シミュレーション（個別物件シミュレーション／経営全般シミュレーション）
- ②少額寄付の仕組みづくり
- ③基金財団の設立準備

①は、前年度の一律的に取り組んだ事業シミュレーションを、個別の特長や資金調達方法などの条件の違いを取り込んだ柔軟性のあるツールへの改善を図る。経営全般について当初は個別物件シミュレーションを元に作成する予定だったが、会社の経営・運営モデルの設定が必要なため、次回以降の報告となる。②は事前調査中で今回報告することはない。③は、日本財団、多摩信用金庫と研究会を開催したが、まだ検討段階である。との説明があった。

意見1：基金財団の設立資金(300万円)をどこから捻出するか、誰が主体となって運営するのかなど、役割をはっきりさせて進める方が良い。

委員長：困ったことがあれば具体的に提示されるとアドバイスしやすいので、次回提示して下さい。

【広報専門委員会報告】

次の3つの検討事項について、進捗状況の報告があった。

- ①効果的な情報発信方法の検討（広報改善）
- ②ステークホルダー合意形成に向けた事業化検討会の開催
- ③顧客管理システムの検討・構築（顧客管理）

委員長：まずは示されている事を進めてもらい、顧客管理システムが進んだら画面などを印刷して共有して行きたい。

【PPP 専門委員会報告】

次の4つの検討項目について、進捗状況の報告があった。

- ①屋根貸しリスクの洗い出しとQ&Aの作成
- ②賃貸契約書のひながたの作成（未着手）
- ③モデル物件の選定・実験・検証（未着手）
- ④モデル普及のための諸業務（未着手）

閲覧資料として、最終的には多摩市のホームページに「太陽光発電設備の設置推進をPRする」ことを目標に提示されたQ&A(28項目)の質問と回答について、主に議論して欲しい4項目について説明があり、Q&A全体を通して多数の意見があった。

意見1：一般的に「知りたいこと」が書かれている必要があるが、契約条件に係るもの、契約内容に係ること、リスクに係ることがあり、定義して整理して欲しい。

意見2：多摩市のホームページに載せる目的は「市民へのリスク開示」となるが、「屋根貸し事業とは何か？」など、市民にわかりやすいものにして欲しい。

意見3：非常用電源としての利用について、パワコンの性能などで制限もあるので、一般的な故障時の事を含めて共通認識を持てるようにしてほしい。

意見4：屋根に設置されたパネルによる反射光問題も出て来るので、対策などをアドバイスできたら良い。

委員長：次回に向けてのお願いですが、資料の中でイメージできる図や契約書などの資料などがあるとわかりやすいので、情報を共有しながら進めたい。また、Q&Aの中にも専門的な部分もあるので、専門委員も回答をお願いしたい。

3. 事務局より

・前回議事録についてご確認頂き、修正部分があれば連絡してください。(Webで公開予定)

・次回日時： 9月12日(木) 17時30分～

場所： 多摩信用金 多摩センター支店 階下の会議室

以 上